

家庭教育学級の歩み

おくの義務教育学校(前期)家庭教育学級
委員長 富田 洋美

1 おくの義務教育学校(前期)の学級目標

「体験を通して親子の絆を深め、新しい気づきの場をつくる。また、活動を通して親同士の親睦を深め、子育てを一緒に学び合う。」

2 学習活動の経過

- (1) 6月 22日(木) ・開級式
市村校長先生の話/富田0学級委員長の話(学級目標・年間計画)
・親子科学工作教室「ビー玉万華鏡作り」
講師 つくばエキスポセンター 菊川 真以先生・小出 孝先生
ビー玉万華鏡作り/情報交換会
- (2) 12月 5日(火) ・親子あさがおリース作り
講師 石井 知恵子先生(学級担任)
クリスマスリース作り/情報交換会
・閉級式
市村校長先生の話/富田学級委員長の話

3 実践を振り返って

(1) 親子科学工作教室「ビー玉万華鏡作り」

講師の先生の丁寧な説明のもと、親子で楽しく万華鏡を作ることができました。少ない材料で、小学1年生でも簡単に作ることができたので、子供たちもとても楽しそうに、自分で作った万華鏡を覗いていました。エキスポセンターの講師の先生が、様々な形の大きな万華鏡を子供たちに貸してくださり、子供同士で見せあったり、どんな形が見えるか伝え合ったりするなど、科学の楽しさにも触れ合える、貴重な時間となりました。



親子科学教室(ビー玉万華鏡作り)

(2) 親子あさがおリース作り

夏に育てたあさがおのつるを利用して、クリスマスリースを作る活動を行いました。夏休みのうちに、各家庭でつるをリースの形にしておき、12月の活動の際に、それぞれ飾り付けを行いました。飾りは、役員で用意したものも配布しましたが、それ以上に各家庭で思い思いの飾りを持参しており、個性あふれる作品がたくさん完成しました。「子供と一緒にひとつのものを作ることができ、とても楽しかった。」という感想が多く寄せられました。



クリスマスリース作り

4 まとめ

家庭教育学級で親子活動を行った事で、普段は見られない学校での子供の様子を間近で見ることができました。そこでの楽しそうな姿を見て安心したり、しっかり活動する姿を見て頼もしさを感じたりし、それによってまた、自分の子育てを見直すきっかけにもなりました。学年役員同士も、活動を通して関係が深まり、これから子供が学校生活を送っていく上での心強い仲間が出来たと感じています。この保護者同士のつながりも、今後も広げ、深めていきたいと思えます。一年間、活動にご協力いただいた生涯学習課の方々、講師の方々、先生方、保護者の皆様に感謝申し上げます。